ブロックだより

地域訪問をして もっと知らせなければ

北区ブロック

友の会会員と職員で訪問

6月30日午後2時過ぎから、ファミリークリニック・石田事務長を先頭に、職員、介護士、友の会会員等15人が6組に分かれて、地域へ訪問に入りました。

堺市民検診受診のお勧めや、友の会の紹介、署名のお願いもしました。訪問先の会員さんから「ひまわりの家に映画を見に行ったよ」の声もいただきました。

この訪問で、地域によっては「ファミリークリニック」があまり知られていないことも分かり、場所や活動（訪問診療・2階のデイサービス、ひまわりの家・里のサ高住）の紹介など、広く知らせていく必要があることを教えられました。

がん検診は、「がんが見つかったら怖いから行かない！」ではなく「早く見つけて早く手当を！」を多くの方にお知らせするためにも、もっとじっくりお話できたらと思いました。

地域のみなさんありがとうございました。訪問に参加されたみなさんお疲れ様でした。

（澤田　節子）

堺コッカラ体操 笑顔でリズムにのって

中区ブロック

中区ブロックでは3カ所で「堺コッカラ体操」をはじめています。「堺コッカラ体操」は、堺市と関西大学が共同して開発した介護予防体操です。「ココロとカラダ」と「ここから」の2つの意味をこめて命名されたそうです。

動作は簡単ですが、テンポを早めたり、組み合わせることでややこしくなったりします。

体操をしている間は、笑いがたえません。みんなの動作がまとまったときは拍手が起こります。それがまた、いいのだと思います。

堺市のリーダー講習会に参加した人が、リーダーになってくれています。

はじめたばかりなので、まだ初級編が中心ですが、オクラホマミキサーのリズムにのって楽しみながら体操しています。

ときにはリクエストで「青い山脈」や「365歩のマーチ」を流しています。この輪がもっと広がればと願っています。

場所・時間帯は「深井ともの家」は毎月第1・3月曜日午前、「ともの家八田」は毎月第2・4土曜日午前、「西陶器ともの家」は毎月第2・4火曜日の午後です。

（林　正二郎）

リズムにのってみんなで楽しく！

高石社保協設立総会・講演会

我がまちになぜ社保協が必要か

高石ブロック

6月23日に高石の社会保障推進協議会（社保協）が、大阪で52番目の地域社保協として産声を上げました。

最初に「なぜ、我がまちに、社保協が必要か」と題して、大阪社保協事務局長の寺内順子さんに講演していただきました。その活動の柱が、自治体キャラバン行動にあること、その活動の積み重ねによって、自治体との信頼関係を築くことが大切であると、学びました。自治体の関係部署の方と、メールでやりとりをしているなど、とても驚きました。私達もそうなれるように、これから努力しなくてはと思います。

また、自治体行政をよくすることは、その地域に住む住民にしかできないことである、と社保協活動の意義を訴えられました。

友の会の高石ブロックは社保協の一員として、会員だけでなく、地域の実態をつかみ、宣伝活動や相談活動にも力を入れていきたいと思います。当面は8月下旬の自治体キャラバンに向けての活動です。今年は、事前学習会や市への独自要望にもとりくみます。

（高石ブロック事務局）

記念講演講師の寺内順子さん（大阪社保協事務局長）

歯科・本部

平和のつどい

2018年
8月25日（土）
14時～16時
同仁会本部会議室にて

①全日本民医連辺野古支援行動報告
（6月20日～6月22日）
②原水禁世界大会
（8月4日～6日・広島）参加者報告
③戦争体験を聞く会
【大阪私学退職者の会
顧問・小畑哲雄氏（90歳）
京都府在住】
④他

主催：耳原歯科診療所　院所利用委員会

「とも」配達に感謝

堺市中区　福渡　澄子（87歳）

いつも健康友の会の「とも」が配布されるのを楽しみに、配達される方々に感謝！感謝です。耳原病院には昔、今村院長の時に、小学生だった息子が大変お世話になり、今も感謝の気持ちで一杯です。

柿本　初野

人とのかかわり

堺市南区　林　順子（73歳）

今、幼児虐待や無差別に人を殺す事件が増えている。なぜなのか？小学校で道徳の教科書を作り、教えても無意味。もっとボランティアをするなど、人とのかかわりを持つべきではないかと思います。

戦争体験

堺市北区　島村　貴子（44歳）

毎号楽しみにしています。戦争体験はなかなか目にしないので、いつも読んでいます。

谷川　久子

聴診器

堺市北区　松本　真弓（41歳）

7月号の聴診器、「考え続ける」ことの大切さを考えさせられました。「自分さえ」の気持ちをすてて、皆が幸せになれる。「戦争」が起こらないように思います。

「とも」楽しみです

堺市西区　中井　都子（74歳）

「とも」を楽しみに読んでいます。国の医療の制度が悪くなっていくのが心配です…。

地震と豪雨

大阪市生野区　小寺富美代（67歳）

このたびの地震・豪雨の被害に会われた人に心よりお見舞い申し上げます。自然の脅威に人間の力では限界を感じます。こんな時、政府の公的援助や補償が必要ですよね。医療機関に入院されているお年寄りや障害者の人々の救出に献身的なスタッフの苦労は目を見張るものでした。